

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2023年
5月号

Vol.70 No.816

巻頭言

改善の進捗 野口幸作

会 告

第144回日暮里塾ワンコインセミナー

2023年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」
(第145・146回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)

報 告

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第74回臨時総会(抄)

連 載

[消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査

第14回 注腸X線検査における臨床画像症例

～炎症性腸疾患(IBC)・潰瘍性大腸炎～ 安藤健一



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2023
MAY

CONTENTS

目次

巻頭言 改善の進捗	副会長 野口幸作	2
会告1 第144回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会	3
会告2 2023年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」 (第145・146回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)	教育委員会	4
会告3 第71回きめこまかな生涯教育	学術委員会	6
お知らせ1 2023年度第1地区研修会	第1地区委員会	7
お知らせ2 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会	8
報告 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第74回臨時総会(抄)		9
連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査 第14回 注腸X線検査における臨床画像症例 ～炎症性腸疾患 (IBD)・潰瘍性大腸炎～	安藤健一	13
こ え		
・第5地区研修会に参加して	吉野彰太	19
・第6地区研修会に参加して	河合 繁	20
・第6地区研修会 印象記	富樫敦史	20
・第6地区研修会「肝エラストグラフィーについて」に参加して	岡部博之	21
パイプライン		
・2023年度関東甲信越診療放射線技師学術大会		22
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2023 No.3)		23
・中央医療技術専門学校同窓会総会のお知らせ		24
2022年4月～2023年3月期会員動向		25
2022年度第12回理事会報告		26

Column & Information

・求人情報	25
・東放見聞録	30
・学術講演会・研修会等の開催予定	31

巻頭言



改善の進捗

副会長 野口幸作

この会誌が発行される5月には、事業計画に基づき、本年度の事業を推進している状況であります。執行部としては、今まで良かったところは現状を維持発展させる方向で、また、課題なり負荷が大きいところは順次改善の方策をとってきました。今回、改善点を列記し、進捗状況を説明させていただこうと思います。

まず、定期総会に関してですが、2020年度より内閣府及び総務省の指導もあり、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う公益法人等の運営に関するお知らせに従い、本会定期総会は書面表決にて行われてきました。これは、感染症を鑑み止むを得ない社会情勢であったからであります。なかなか会員や代議員の意見を聴取できないまま3年が経ってしまいました。ここ最近は、世間的にWithコロナの状況になってきたこともあり、本年度の定期総会は会場参加型とし、直に代議員の皆さまと顔を合わせ意見を交わし対応していく予定であります。6月の定期総会は何卒、会場へのご出席をよろしくお願い申し上げます。

次に、定款諸規程等検討委員会に関してですが、上記の定期総会では、事業の追加修正を行うべく、定款改正を議案として上程する予定であります。昨年10月理事会より、新メンバーにて定款諸規程等検討委員会を再始動し、検討を重ねてまいりました。本会の運営は定款諸規程に従い、ルールに則した運営を行うのが基本であります。時代変遷とともに、現状に則さない部分も見えてきます。そこを修正すべく委員会にて検討し、専門部委員会を経て、4月の理事会承認そして定期総会へ上程の段取りで進めています。この委員会は、小田元委員長、白木前委員長の後を継いで、私が委員長として活動しています。

3つ目は、放射線相談委員会に関することです。この委員会の前身は、本会ホームページ上での被ばく相談への回答活動でしたが、委員一人での対応であったため負担軽減と組織としての対応を進めるべく、昨年11月理事会にて特別委員会の承認を得て委員会活動として出発しました。一般の方々から多い時は月に2～3件の医療放射線の被ばく相談があり、本委員会の5名のメンバーで意見を出しつつ、集約して丁寧な回答を行っています。また、本委員会では、被ばく相談以外にも、医療放射線安全管理の方法等の相談も受け付けています。現在、私が担当副会長として本委員会のメンバーとして携わっています。

また、前回の巻頭言で記載したように、各専門部委員会や地区委員会の活動状況と情報が、副会長経由で会長へと伝わる体制の構築を目指すために、担当副会長制の導入（復活）を進めております。会長自ら各専門部委員会や地区委員会へ顔を出していくのは良いことではありますが、その分負担も大きくなります。両副会長も担当副会長として、可能な限り各委員会等へ出席し対応していく方向で進めています。

「技師会活動を楽しもう！」の精神で、現状の課題を一つひとつ着実に改善していくべく、執行部一丸となって取り組んでいます。今後とも会員の皆さまのご理解とご協力を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

第144回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催

テーマ「次世代がん放射線治療装置MRIリニアック」 ～更なる高精度放射線治療とは～

講師：エレクトラ株式会社 小栗 大介 氏

第144回日暮里塾ワンコインセミナーもWeb開催と致します。

今回の日暮里塾ワンコインセミナーは、がん治療の新たなスタンダードとして高磁場MRIとリニアックを一体化した放射線治療装置についての情報を提供していただきます。

従来方式と異なり、腫瘍と近接する放射線に敏感な正常組織を同時に正確かつ高速撮像することができ高精度な放射線治療が可能となりました。

日常業務で治療分野に携わっていない方にも分かりやすく説明していただきます。ぜひご参加の程よろしくお願い致します。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年5月15日（月）19時00分～20時00分

受 講 料：無 料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはURL、パスワードを返信致します。

定 員：定員は特に設けておりません

申込締切日：2023年5月8日（月）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.0カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2023年度診療放射線技師のための 「フレッシューズセミナー」

第145・146回日暮里塾ワンコインセミナー（新入会促進セミナー） 合同開催（Web開催）

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会、公益社団法人東京都診療放射線技師会

2023年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」および第145・146回日暮里塾ワンコインセミナー（新入会促進セミナー）を開催（合同開催）致します。

これは公益社団法人日本診療放射線技師会と公益社団法人東京都診療放射線技師会の共同企画であり、新人診療放射線技師を対象としたセミナーです。本セミナーの特徴は、医療者として必要な医療安全学、医療感染学、エチケット・マナーを学ぶだけではなく、撮影・検査にも対応できるよう知っておくべき基礎知識の習得を目的として開催します。

今回はWebでの開催を予定しております。内容は各回同一です。ご都合の良い方を選び、ご参加をお待ちしております。なお、Web（Zoom）のURL、ミーティングID、パスワードは、申し込み後にメールにてご連絡致します。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：第145回：2023年5月21日（日） 8時50分～16時50分

第146回：2023年6月 4日（日） 8時50分～16時50分

※同一内容

定 員：50名（定員になり次第締め切り）

受講対象者：診療放射線技師として新入職した者、または経験2～3年程度の者

受 講 料：無 料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※資料を郵送するため、確実に受け取れる住所をお願いします。

締 め 切 り：第145回：2023年5月14日（日）

第146回：2023年5月28日（日）

問い合わせ：教育委員長 小林隆幸 E-Mail：kyouiku@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

※受講者には「診療放射線技師のための医学用語集」（学術委員会収録）を進呈致します。

以上

— プログラム（5/21・6/4 共通） —

限	時 間	科 目	5/21	6/4
	8:50～ 9:00	開講式・ オリエンテーション		
1	9:00～ 9:45	エチケット・マナー／ 医療コミュニケーション講座		
2	9:45～10:30	医療安全対策講座		
休 憩				
3	10:40～11:25	感染対策講座		
4	11:25～11:55	被ばく低減講座		
5	12:00～12:30	技師会活動紹介	野口幸作 東放技理事 市川篤志 東放技理事	野口幸作 東放技理事 市川篤志 東放技理事
	12:30～13:10	昼 食		
6	13:10～13:50	胸部X線撮影の基礎講座		
7	13:50～14:35	気管支解剖講座		
休 憩				
8	14:45～15:15	CT装置・検査の基礎講座		
9	15:15～15:45	MRI装置・検査の基礎講座		
10	15:45～16:15	臨床検査値と画像講座		
	16:15～16:45	入会案内	野口幸作 東放技理事	野口幸作 東放技理事
	16:45～16:50	閉講式		

- 1) 今回はWeb（Zoom）配信となります。
- 2) 申込後、ID、PWを送りますので、当日はZoomへアクセスしてください。
Zoomの設定、使用方法に関しては各自でお願いします。
- 3) 講義動画の録画に関しては固くお断り致します。
- 4) 資料は郵送にて送ります。また東京都診療放射線技師会で作成しました「診療放射線技師のための医学用語集」を進呈致します。

第71回きめこまかな生涯教育

テーマ「放射線計測学に必要な統計と不確かさの考え方」 ～基礎から実践～

講師：群馬県立県民健康科学大学 診療放射線学部 診療放射線学科 助教 津野 隼人 氏

第71回きめこまかな生涯教育は、東京都診療放射線技師会研修センターにて対面形式で開催致します。

テーマは「放射線計測学に必要な統計と不確かさの考え方」についてです。皆さまも実験を行う中で計測結果が少しずつ異なるといった経験から、「ばらつき」の取り扱いについて困ったことはないでしょうか。この分かりづらい「統計」や「不確かさ」について基礎から実践まで分かりやすく解説していただきます。ぜひ参加をお願い致します。

参加費については、当日研修センター受付にて徴収致します。参加者の皆さまが安心して参加できるよう、感染予防対策を講じて開催致しますのでご協力をお願いします。

※今回はパソコンを使用する演習はございません。

記

日 時：2023年7月1日（土）15時00分～17時00分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号

受 講 料：会員 2,000円、非会員 10,000円

申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：30名（先着順）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修2.0カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2023年度 第1地区研修会 (Web開催)

テーマ「AltivityによるCTとMRIの進化」

講 師：キヤノンメディカルシステムズ 加藤 英斗 氏
石井 崇倫 氏

2021年キヤノンメディカルシステムズより新AIブランドとして“Altivity”が発表され、これを搭載した装置が国内で稼働しています。“Altivity”とは、診断から治療までの過程全体に対して画質と価値を、AI技術を集約し提供するものとあります。

今回、第1地区研修会では、Altivityについて詳細に、また、実際の現場ではどのように活用されているのかなどを、お二人の講師を迎えご講演いただこうと思います。興味がある、新しい技術について詳細に知りたい！という皆さま、ぜひご参加ください。多くの方々をお待ちしております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年6月28日（水）19時00分～19時45分

開催方法：Web開催（Zoom）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：50名（先着順）

申込締切日：6月25日（日）

問い合わせ：第1地区委員長 増田祥代 E-Mail：area01@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ 2

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ <https://www.tart.jp/> には各地区の表が掲載されています。

“当会の概要” から“支部・地区一覧表”をお選びください。

公益社団法人
東京都診療放射線技師会

一般の方へ 当会の概要 入会案内・各種手続き 研修会・イベント情報 求人情報 お問い合わせ

HOME > 当会の概要 > 支部・地区一覧表

支部・地区一覧表

東京都診療放射線技師会では、東京を13の地区に分け、東京に隣接する神奈川・千葉・埼玉を加えた計16地区で構成し、技師会をより多くの診療放射線技師の皆さんに、また一般の方に「診療放射線技師」を知っていただこうと日々活動をしています。

各地区紹介ページ

城東支部	第1地区	千代田区	地区紹介
	第2地区	中央区、台東区	地区紹介
	第7地区	墨田区、江戸川区、江東区	地区紹介

地区紹介PDF

また、“地区紹介PDF”では各地区の特色や活動を写真入りで紹介しています。
こちらもぜひご覧ください。

情報委員会

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第74回臨時総会(抄)

日時：2023年2月23日(木) 10時00分～

会場：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

鈴木総務委員長：只今より、第74回公益社団法人東京都診療放射線技師会臨時総会を開会致します。開会に先立ちまして、今回も新型コロナウイルス感染症防止対策を施しての総会になることをご認識ください。それでは、はじめに本会会長の江田哲男よりご挨拶を申し上げます。



江田会長

江田会長：今日は祝日の中、臨時総会へご参集いただきありがとうございます。今回の臨時総会については、本年度の第8回理事会にて承認された「会費額

の変更に伴う規程の改正」となります。この会費額減額については、会誌にも掲載させていただきました通り、一番の大きな目的は本会の入会組織率50%、会員数3,000名にするということでございます。会費額を減らすだけでは、入会促進につながるとは考えておりませんが、その大きなインパクトのある戦力のひとつが今回の規程の見直しとなりますので、会員の皆さまにはご理解いただければと存じます。

今回も新型コロナの影響により、事前の書面表決による開催となりますことをご了解いただき、本日の臨時総会、よろしくお願い致します。

鈴木総務委員長：それでは、臨時総会に移ってまいります。本臨時総会の総会運営委員会の紹介をします。総会運営委員は総会運営規程により各支部から選出されております。総会運営委員として、富丸佳一さん、上高大明さん、佐藤成実さん、森 諒輔さん、加藤夏生さん、の以上5名です。総会運営委員長は、富丸佳一さんです、よろしくお願い致します。それでは、本総会の総会運営委員会報告をお願い致します。富丸総会運営委員長、よろ



富丸総会運営委員長

しくお願い致します。

富丸総会運営委員長：富丸よりご報告申し上げます。今回の総会は新型コロナウイルス感染症対策の一環として、書面表決方式を



会長・副会長

伴った総会形式としました。これは、総務省からの指導、一般法人法第51条の規定に従った形です。また、本会2022年度第8回理事会において理事会承認を得て行われることを申し添えさせていただきます。

総会運営委員会において検討を行い、総会議長に関しては、総会運営規程第4条第2項の規定により、立候補制となっていますので、事前に立候補を募り立候補者をホームページ上で公開し、信任投票を行う形式としました。また、書面表決に関しても全ての代議員が平等に適正な判断ができるように、代議員の皆さまへは事前に総会資料の送付を行い、ご質問・ご意見を述べる事ができる期間を設定し、回答をホームページ上で行い、書面表決を返信してもらうという形式を設け執行部に指示致しました。

本会の代議員数は退会や転出などの関係もあり、選挙管理委員会の確認の下、現在74名です。総会成立代議員数は本会定款第21条により、全代議員の過半数の出席者数は38名以上であります。現時点での代議員の出席状況及び、書面表決状況をご説明致します。

総会出席者数1名、書面表決数65名のうち有効数65名、合計66名、従いまして、この第74回臨時総会は成立することをご報告致します。総会運営委員会委員長 富丸佳一。



鈴木総務委員長

鈴木総務委員長：それでは、本総会の議長を選出したいと存じます。富丸総会運営委員長お願い致します。

富丸総会運営委員長：先程述べたように、事前に立候補を募った議長候補者に1名の立候補がござい

ました。立候補者は第4地区 高橋潤一郎 代議員です。

郵送での信任投票も踏まえた信任投票の結果、書面表決票での信任投票65票と会場での参加者1票となり、合計66票を獲得し過半数を得ております。よって、代議員の信任を得たと判断し、総会運営委員会として議長への就任をお願い致します。

鈴木総務委員長：それでは高橋議長、よろしくお願い致します。



高橋議長

高橋議長：第4地区の高橋です。よろしくお願い致します。本日の議事録署名人は議長の高橋と、全出席理事、監事となります。次に、総会の運営について総

会運営委員会報告を、富丸総会運営委員長よりお願い致します。

富丸総会運営委員長：総会運営委員会よりご報告申し上げます。只今の時刻は10時7分です。

これより、報告1「会長交代について報告」、第1号議案「会費額の変更に伴う規程の改正について」、以上、報告から第1号議案までを11時7分までにご審議願います。総会運営委員会委員長 富丸佳一。

高橋議長：総会運営委員会の報告の通り、議事を進めさせていただきます。つづきまして、議事の進め方についてお諮り致します。報告は報告をもって終了とし、議案は議案ごとに審議し採決を行いたいと存じます。書面表決の結果をもって、採決の結果として対応したいと存じます。では、議事に入ります。報告事項として、会長交代についての報告をお願い致します。



野口副会長

野口副会長：会長交代についての報告を致します。この件には会長代行で会務を行っておりました副会長の野口より報告させていただきます。今回の報告は

会長交代の経緯を会員に説明し、本会定款及び規程に則り適正に対処したことを報告するものであります。また、東京都管理法人課からのアドバイスの上での報告であることを付け加えさせていただきます。

経緯としまして、2022年10月5日17時20分頃にJARTの上田会長から携帯に電話があり、「麻生JART業務執行理事（TART会長）が逮捕されたというネットニュースが出た。今後の情勢次第ではあるが対応の準備をするよう」との主旨内容でありました。関副会長と協議し野

口副会長が会長代行として動くことと、今後情報収集に努めることを確認し五役で情報共有をしました。翌6日に中澤顧問と篠原顧問、白木監事、野田監事、高山先生（本会の会計等に対して指導や助言を行っていただいている公認会計士）で初期対応を相談し、続いて臨時の専門部委員会を開催し情報の共有や今後の対応について協議を行いました。これらにより今後の情勢次第によることが大きいですが、①本会への影響を回避することに最大限の対応を行う。②JARTと連携し情報共有して対応する。③早急に東京都庁の生活文化スポーツ局管理法人課と協議し、法令や本会定款、規程に則した対応を確認する。以上のこととしました。次に理事会及び運営委員会に周知し、情報共有を致しました。

ここで本会への影響に関して説明します。公益認定法上の欠格事由があり、役員に禁固刑以上の刑が確定した者がいる場合は、行政庁は公益法人を取り消さなければならないとあり、これらを回避することであります。その後、JARTの上田会長と麻生氏の弁護士からの情報及び意見を聴取し、現時点での解任は時期尚早ではあるが、起訴がひとつの基準になるであろうとの判断で対応を進めることとしました。これらの事項をTART役員と情報共有し、意思を統一して対応を進めました。

10月19日に篠原顧問と都庁生活文化スポーツ局管理法人課を訪問し、経緯と今後の方向性の説明を行い、私たちの判断が本会定款や諸規程及び各種法令等に違反していないかの確認を行い、社会的信用や適切なガバナンスのあり方についてのご指導いただきました。

東京都診療放射線技師会の公益社団法人存続を第一に考え、そのリスクを回避するため起訴をひとつの起点として、臨時総会の開催も視野に入れつつ対応を進めてまいりました。

10月26日に起訴及び再逮捕の情報があり、直近の理事会（11月2日）にて対応を協議し決議を行うこととしました。10月30日に麻生氏の弁護士から辞任届の郵送連絡をいただきました。

11月2日の理事会の対応と決議としまして、大変重要な案件であるため出席全理事からの意見を聴取して採決



白木監事・野田監事



会長・副会長

を行いました。なお、同日に麻生氏からの辞任届が郵送で到着しておりました。具体的な決議内容として①「退任をさせる」、「退任をさせない」については、社会に対する影響を考え全会一致で「退任」の決議となりました。②「辞任届を受理しての辞任」、「辞任届を受理せず解任」については、辞任と解任の意見が両方ともありましたが、採決の結果「辞任」という結果になりました。③「会長として今回の事件に関して責任を問うか」については、職場の事件ということで現時点では責任は問わないという決議となりました。④「麻生会長を選出した、理事会の責任を問うか」についての議論も行いましたが、理事会及び理事には責任はないとの結論に至りました。以上により麻生氏の会長職退任が決まりましたので、次期会長に理事会決議として江田会長を選出した経緯となります。

再発防止策として、今回は職場の事件であり直接的には同様な状況における、対策防止策を講じることは困難である。しかし公益社団法人の役員としての責務を示すことにより、コンプライアンスやガバナンスの重視に繋がっていきたいと考えております。また、危機管理として情報の共有と相談体制を高めていき、リスクマネジメントに対応したいと考えております。以上で会長交代の報告とさせていただきます。

高橋議長：各議案に関して代議員の皆さまへは郵送、会員の皆さまへは本会会誌1月号に掲載されております。なお、代議員へは事前に資料を郵送し、ご質問・ご意見の期間を設け、これに対する回答をホームページに掲載し書面表決をいただいております。では、第1号議案「会費額の変更に伴う規程の改正について」の説明をお願いします。



江田会長

江田会長：「会費額の変更に伴う規程の改正について」を説明させていただきます。

2022年度第8回理事会において、本会の組織率の向上を目標（組

織率50% 会員数3,000名）に、2年間の会費額の減額の承認がされました。この数年は、コロナ禍の状況もあり、対面式の会議や研修会、講習会をWeb方式へと移行し、交通費や会場費の支出低減により賄えると想定しております。更に、魅力ある技師会、業務に役に立つ研修会などへと変革していき、会員増へと役員一丸となって目標達成を目指す方向性でございます。主な内容については、新入会に関しては入会時の会費は無料とし入会に対する障壁をなくし、入りやすい経済状況を確認するものとなりました。

次に、60歳以上の会員に関しては、64歳までを7,000円とし、65歳～69歳を3,000円、70歳以上を無料とすることを提案しております。過去のデータから、定年を機に一定数の方が退会する傾向がございます。これを改善し少しでも長く会員を維持していただき、後輩の指導をいただきたいとの思いが理由でございます。そこで今回は、会費に関する規程の改正及び会費減額に関する時限規程の承認をもって、会費額の減額として総会の承認をいただきたいと考えています。皆さまのご理解ご協力をお願いします。

高橋議長：あらかじめご提出していただいた、ご質問・ご意見に関してはホームページ上に回答しておりますので、ここでの説明は省かせていただきます。では、採決を行います。総会運営委員会 富丸委員長、お願い致します。

富丸総会運営委員長：書面表決の有効投票数65票、反対1票、保留1票、賛成63票です。

高橋議長：富丸総会運営委員長の報告の通り、賛成多数で可決、承認されました。以上をもちまして、第74回臨時総会の議事を終了させていただきます。只今をもって議長を解任させていただきます。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

鈴木総務委員長：高橋議長、総会運営委員会 富丸委員長、滞りなく審議を終了していただき、あらためて感謝申し上げます。以上で本日の全日程が終了致しました。閉会の挨拶として本会副会長であります、関 真一より閉会のご挨拶を申し上げます。

関副会長：本日はお忙しい中、代議員の皆さまにおかれましては第74回臨時総会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。おかげさまで滞りなく審議を終了することができました。ご承認いただきました議案に沿って、役員一同一丸となって推進する



関副会長

所存でございます。また、頂きました貴重なご意見も、真摯に受け止めさせていただき努めてまいる所存です。

それでは、第74回公益社団法人東京都診療放射線技師会臨時総会を閉会と致します。本日は誠にありがとうございます

ございました。

鈴木総務委員長：以上をもちまして、第74回公益社団法人東京都診療放射線技師会 臨時総会を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第74回臨時総会 質問・意見に関する回答

◆第6地区 高橋克行 代議員

【質問1】

第1号議案資料、2頁冒頭の説明文について1行目：（組織率50% 会員数3,000名）とあるが、こちらは推定組織率を指していると思われるが、どちらのデータであるか。

また、当会の第1～16地区の地域で就労している診療放射線技師は6,000名しかいないのでしょうか。

【回答】

厚生労働省からの情報を使用したJART理事会報告資料となる。因みに10月31日のデータでは都内における技師は6,315名、会員は2,498名。組織率は39.6%。全国平均は57.2%。

【質問2】

第1号議案資料、2頁冒頭の説明文2行目：コロナ禍の状況もあり～支出低減等々により賄えると想定している。とあるが、現会員の時限的減額は理解できるが、初年度徴収費5,000円を0円とすることに理解ができない。新入会であっても2年目会員と同等の権利を有するのに、そこまでする必要があるのでしょうか。

また、時限的措置がなくなった場合に、初年度5,000円に戻ると思うが、そちらとの優遇の差はどのようにお考えになるのか。

【回答】

初年度入会者の年額0円についても会費と共に見直しを実施します。2年間の会費減額だけでなく、入会促進も含めた事業活動であることを第7回理事会で説明し、第8回理事会で決議されていることをご理解いただければと存じます。

【質問3】

われわれは公益社団法人であり、フィットネスクラブなどの会員拡大により利益を求める、営利を目的とする法人ではないと考える。

金銭的優遇をして会員を増やすことに、どのような意義があるのかご説明をお願いしたい。以上、ご回答をよろしくお願い致します。

【回答】

本会は放射線検査・治療技術の質の確保と都民の健康及び医療、並びに保健の質の維持発展に寄与することを目的として、活動することを東京都から認定されている公益社団法人です。都民の人口約1,400万人に対して約6,000名の技師がいるにもかかわらず組織率が39.6%です。公益社団法人として本会の目的達成のために多くの会員が入会し、診療放射線学の向上発展と放射線障害の防止に関する事業を推進するために入会促進が必要と考えています。本会の目的趣旨をご理解いただきたく存じます。

◆第14地区 河手 健 代議員

【質問4】

第1号議案について（総会資料と重複しますが）質問します。

①会費変更に至る経緯

②金額の主旨は？

③経理上の問題は？ 対策は？

④他県の技師会との関連性は？

⑤組織率↑はどの程度の見込みか？

以上

【回答】

ご質問の①～③については、第7回、第8回理事会議事録をご参照ください。他県技師会との関連性についてはございません。組織率については、入会促進事業を実施しておりませんので、推測はしておりません。現在、必要なことは、第8回理事会で決議した入会促進事業を各地区と共に実施するということです。入会促進に向けて企画・検討をすることを中心で行う、委員会を次年度に設置することも第10回理事会にて決定されています。以上について、ご理解及びご協力をお願いします。

第14回 注腸X線検査における臨床画像症例
～炎症性腸疾患 (IBD)・潰瘍性大腸炎～

みさと健和病院 安藤 健一

これまで消化管造影検査連載企画では、上部消化管X線検査について、X線TV装置の機器精度管理について、食道・胃・小腸・大腸の症例について連載してきました。

そして現在は『大腸・注腸X線検査』について連載させていただいております。

新シリーズでは、これまで大腸の解剖生理・注腸X線検査の前処置・撮影法・画像評価法について、取り上げてきました。引き続きどうぞよろしくお願い致します。

1 | 炎症性腸疾患とは

炎症性腸疾患は、inflammatory bowel disease と呼ばれ、その頭文字をとってIBDと略されます。IBDは、広い意味では腸に炎症を起こす全ての疾患を指しますが、狭い意味では「潰瘍性大腸炎」と「クローン病」のことを意味します。潰瘍性大腸炎もクローン病も今のところ原因がはっきり分かっておらず、このため発症すると長期間の治療が必要な慢性的な疾患です。また、長期的には再燃期と寛解期を繰り返すのが特徴です。

近年、医学の進歩に伴いIBDの病気のしくみが少しずつ解明され、遺伝や環境、腸内細菌の異常などの要因がさまざまに関わり、体内で免疫異常が起こり発症することが分かってきました。衛生状態が整った先進諸国に多い病気で、欧米型の食生活も関与していると考えられています。若年者に発症することが多く、日本では1990年代以降、急激に患者数が増加してきており、潰瘍性大腸炎は22万人以上（米国に次いで世界で2番目に

多い）、クローン病は7万人を超える患者がいます。潰瘍性大腸炎・クローン病ともに医療費の一部を国が補助する特定疾患（いわゆる難病）に指定されています。

2 | 潰瘍性大腸炎について

潰瘍性大腸炎（Ulcerative Colitis : UC）は、大腸にびまん性に限局した病変をきたす疾患であり、主として粘膜を侵し、びらんや潰瘍を形成する原因不明のびまん性非特異性炎症であると定義されています。直腸から連続的に口側に広がり、最大で大腸全体にまで及びうる、大腸の表面粘膜が侵される疾患です（図1）。

罹患範囲からみた分類と割合は、直腸炎型（25.1%）・左側大腸炎型（25.2%）・全大腸炎型（38.3%）・その他となっております（図2）。




疫学・統計については、潰瘍性大腸炎罹患患者・患者数は増加傾向にあります。2015年1月の難病医療費助成制度の改正に伴い、軽症者は原則として助成対象から外れることとなり、2015年度以

潰瘍性大腸炎(Ulcerative Colitis : UC)
特徴

- ・直腸から連続する病変
- ・原則的に大腸のみに起きる
- ・連続性・表層性の炎症
- ・瘻孔、狭窄はきたさない

図1 潰瘍性大腸炎 (Ulcerative Colitis : UC) の特徴

潰瘍性大腸炎の罹患範囲

直腸炎型	左側大腸炎型	全大腸炎型
		
25.1%	25.2%	38.3%

潰瘍性大腸炎の疫学

潰瘍性大腸炎

① 特定保健制度 ② 国民健康調査

人数

国登録者延交付件数
国民健康調査交付件数

131,560
126,734

年度

潰瘍性大腸炎の発症定年年齢

(%)

男性
女性

年齢 (歳)

降の受給者証所持者数は減少しておりますが、一方で、厚生労働省難治性炎症性腸疾患障害に関する調査研究班が2014年に行った疫学調査では22万人以上と推察されております。また、比較的若年者に発症し、10歳代後半から30歳代前半に好発することが知られておりますが、小児や50歳以上の年齢層にもみられます(図3)。

特徴的な症状は、主に、血便、粘血便、下痢あるいは血性下痢を呈しますが、病変範囲と重症度によって左右されます。軽症例では血便を伴いませんが、重症化すれば、水様性下痢と出血が混じり、滲出液と粘液に血液が混じった状態となります。他の症状としては腹痛・発熱・食欲不振・体重減少・貧血などが加わることも多いです。さら

特に注腸X線検査の特徴的画像所見は、①粗造または細顆粒状の粘膜表面のびまん性変化、②多発性のびらん・潰瘍、③偽ポリポーシス、その他は、ハウストラの消失（鉛管像 lead pipe）や腸管の狭小・短縮が認められます（図6）。

潰瘍性大腸炎の臨床症状

症状

A bar chart titled '潰瘍性大腸炎の臨床症状' (Clinical Symptoms of Ulcerative Colitis). The y-axis is labeled '(%)' and ranges from 0 to 50 in increments of 5. The x-axis lists various symptoms. Each symptom has two bars: a dark grey bar and a light grey bar. The symptoms are ordered by decreasing percentage.

症状	Dark Grey Bar (%)	Light Grey Bar (%)
下痢	45	42
膿血便	42	40
腹痛	30	28
裏急後重感	26	24
食欲不振	24	22
体重減少	22	20
貧血	18	16
発熱	16	14
全身倦怠	14	12
血便減少	12	10
肛門瘻	10	8
紅門結核	8	6
腸炎	7	5
腸管狭窄	6	4
腸管水腫	5	3
腸管痙攣	4	2
腸管出血	3	1
腸管穿孔	2	1
イレウス症状	1	0

7)

A. 腹内圧上昇：持続性には腹内臓の腫れ・血腫、あるいはその既往がある。

B. 腸管拡張：①腸管はより十分に拡張し、命を脅かす症候に近づく。軽度または中程度の拡張を示すもの。さらに、より顕著な腸管（横結直腸）の伸びや、粘着性の分泌物が附着していること、②多発的な小嚢、潰瘍あるいは偽憩室（憩室炎）を認める。③腸閉塞と病変が重複して発生していること。

C. 腹部膨満感増加：①腹および腸管の組織表層の慢性炎症性変化、②多発性の小嚢、潰瘍、偽憩室の存在によるものである。その他、ハプストの消失(胃管瘻)や腸管の狭小・短縮が認められる。

D. 糸状筋組織の活動性：活動性では腸腔外へ伸びた慢性炎症性細胞浸潤、腸管壁の増厚、高率な腸管減少が認められる。いずれも非特異的所見であるため、診断的に利用する。寛解期では腸の配列異常(進行・分泌)、腸管の萎縮や、上皮化して正常粘膜から繊維性上皮に置き換わる。

確診例として

[1] Aのはかりのままは、おおよびを満たすもの。
[2] Bの①のみは、おおよびを複数回にわたって満たすもの。
[3] 切開手術または切除により、腸管のどのより組織学的にも本症に特徴的な所見を認めるもの。

(C18) 確診例としては大腸鏡が除外であり、ワグネル大腸、アーマーバインズ大腸炎、カモチネ大腸炎、カピロラ腸炎、大腸結核、タウジラビ菌感染などの感染症が主で、その他クロン病、放射線大腸炎、薬剤性大腸炎、リンパ管腫瘍性疾患、遺伝性大腸炎、腸管型パラネオプ्लाチックなど。

(C19) 確診が得られず診断の不確定なものには「疑念」として取り扱い、後日再評価となり明確な所見が得られた時に本症と「診断」する。

(C10) 鑑別診断例
クローン病と潰瘍性大腸炎の鑑別診断においては経過観察を仰う。その際、内視鏡や生検所見を含めた臨床像だけでなく確定診断が困難な場合にはinflammatory bowel disease unclassified (IBDU) とする。両者とも鑑別不能の両側性炎症性腸炎の概念を表しており、両記号診断のうち一方のものはindeterminate colitis (IC) とする。経過観察により、いずれかの疾患のより特徴的な所見が出現する場合がある。

- ・粘膜面の粗造・びらん性変化
- ・ハウストラ消失
- ・鉛管状腸管 (lead pipe)
- ・カラーボタン様ニツシエ
- ・炎症性ポリープ
- ・短縮・狭小化
- ・その他

14 東京放射線 2023.5 Vol.70 No.816

3 | 潰瘍性大腸炎の臨床症例①

20歳代男性。持続する頻回な下痢と腹痛を主訴に外来受診。直腸から連続性に盲腸に至るまでの全大腸に、微細顆粒状から粗造な粘膜を連続性

に認めます。ハウストラの消失・鉛管状腸管 (lead pipe) の典型的所見も認め、局在を含め全大腸型の潰瘍性大腸炎と診断することができます。内視鏡像でも発赤した微細顆粒状から粗造な粘膜を認めます (図7～図23)。



図7

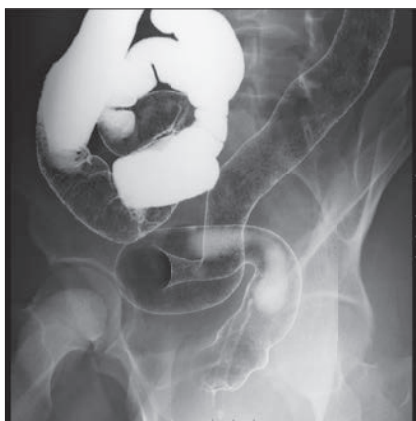


図8



図9

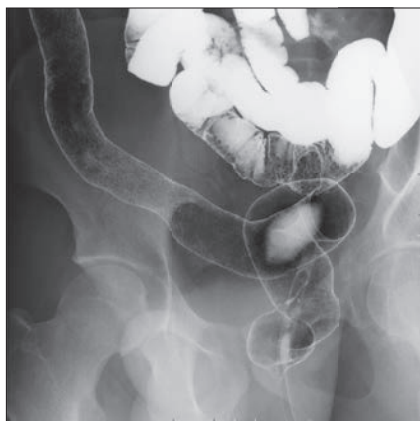


図10



図11



図12



図13



図14



図15



図16

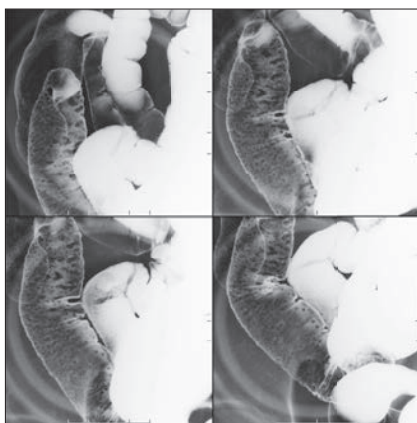


図17

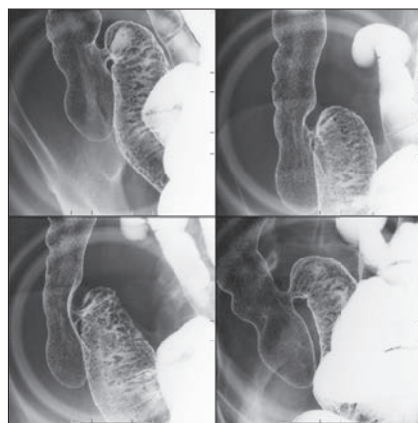


図18



図19



図20



図21



図22

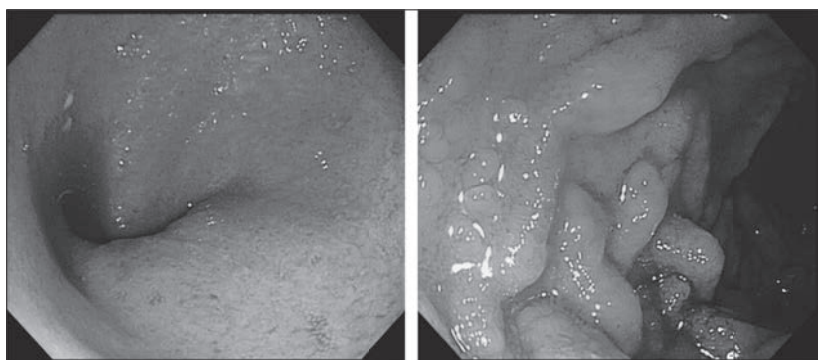


図23

4 | 潰瘍性大腸炎の臨床症例②

50歳代男性。粘血便と腹痛と倦怠感を主訴に外来受診。症例①と同様に、直腸から連続性に盲腸に至るまでの全大腸に、粗造な粘膜とびらん、潰瘍によるニッシェを連続性に認めます。本症例の特徴的な所見は、潰瘍によるニッシェですが、カラーボタン様潰瘍とか、カラーボタン様ニッシェと言われますが、炎症が活動期で下掘れ状の

潰瘍に造影剤が入り、側面像で写されたときに描出される像です。二重造影像よりは充盈像のほうが、描出されやすいです。炎症が強度の活動期の全大腸型の潰瘍性大腸炎と診断することができます。内視鏡像でも広範な潰瘍と自然出血を認めます（図24～図40）。

図41に症例①の微細顆粒状・粗造粘膜、症例②のカラーボタン様ニッシェの拡大像をお示しします。



図 24



図 25



図 26



図 27



図 28



図 29



図 30



図 31



図 32

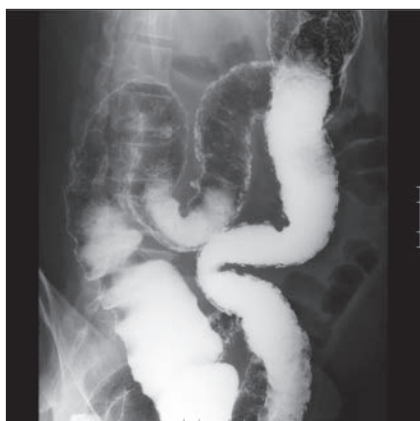


図 33



図 34



図 35



図 36

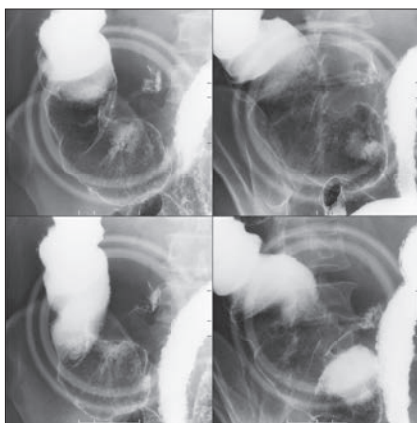


図 37

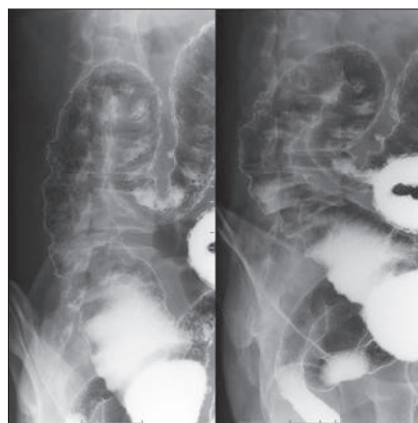


図 38



図 39

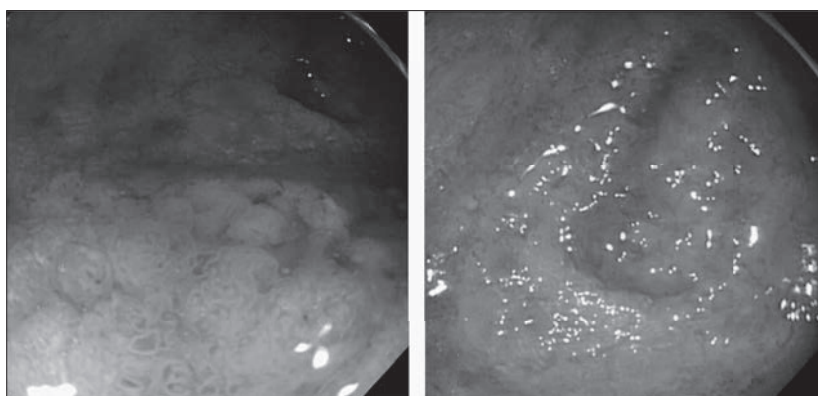


図 40

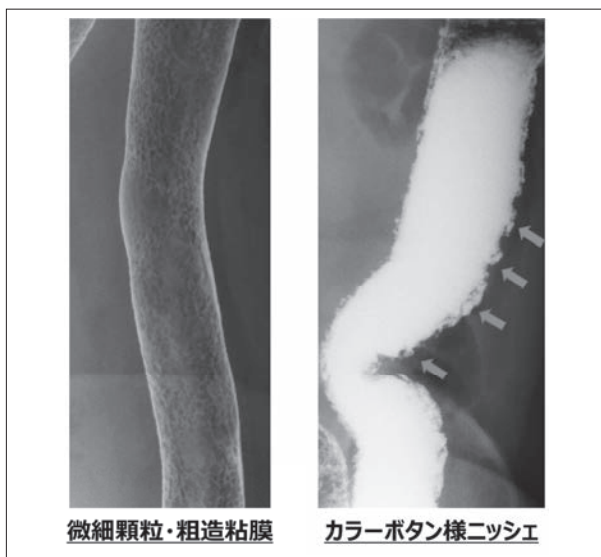


図 41

5 | おわりに

今回は、炎症性腸疾患（IBD）・潰瘍性大腸炎（UC）について述べさせていただきました。

潰瘍性大腸炎（UC）は増加傾向にあります。疾患の特性上、長期的に治療を継続・経過観察する必要があります。正確な罹患範囲と病態病期分類（活動期・寛解期）の把握を含め、客観性・再現性のある精度の高い注腸X線検査が重要となります。

次回は、炎症性腸疾患・クローン病についてお話しする予定です。引き続きよろしくお願い致します。

参考文献

- 厚生労働省難病情報センター
(<https://www.nanbyou.or.jp/>)
- 厚生労働省
(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000062437.html>)
- 「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班
(<http://www.ibd-japan.org/>)

第5地区研修会に参加して

日本医科大学付属病院 吉野彰太

2023年2月22日に開催された第5地区研修会に参加させていただきました。「放射線治療 最前線(概論)～放射線科治療医がガンガン教えます～」をテーマに、東京大学医学部附属病院放射線科 山下英臣先生のご講演をWebにて拝聴致しました。

私はまだ放射線治療部門に配属されて間もないですが、放射線治療の流れや、強みなどの基本的な所から、今後の放射線治療の展望まで丁寧にお話ししていただいたのでとても理解しやすく、勉強になるご講演でした。

放射線治療の強みとして、入院が不要で1回5分程度の治療が可能であることや、近年、寡分割照射によって治療回数は減少傾向で、乳癌で25回照射が16回照射、前立腺癌で38回照射が30回照射に移行しつつあることを教えていただきました。当院では、従来の回数での照射が多い傾向にあります。治療のための通院回数は少ない方が患者さんの負担軽減につながると思いました。

また、東大病院で用いている装置として、Elekta社のVersa HD、Catalystのお話がありました。Catalyst

の臨床用途として、ポジショニング、モニタリング、ゲーティングがあるとのことでした。無被ばくイメージガイドが可能で、患者体表面をリアルタイムにモニタリングし、カラーマップを直接表示することができます。当院では、マーカーとシールを用いていますが、印が消えないように患者さんに注意を促したり、スタッフが何度も書き足したりしています。Catalystを用いてマーカーレスで治療を行うことで、患者さんやスタッフの負担軽減につながるので、当院でも使ってみたいと思いました。

講演の最後に先生が、「技師が最後の砦でミスを指摘してくれる技師さんが良い」とおっしゃっていました。私も計画を受け取る際に間違っているところや、気になる点があった時には、先輩技師に相談し、医師に確認を取るようにしています。今後は一層、医師と情報を共有し、コミュニケーションをきちんと取ることで、患者さんにとってより良い治療が行えるようにしたいと思います。

最後になりますが、このような貴重な研修会を開催していただきありがとうございました。

2022年度
東京都診療放射線技師会
第5地区 研修会

「放射線治療 最前線(概論)」
～放射線科治療医が“ガンガン”教えます～

東京大学医学部附属病院 放射線科
山下 英臣 先生

2023年 2月 22日
19:00～20:00

第6地区研修会に参加して

中央医療技術専門学校 河合 繁

2023年3月9日木曜日にハイブリッド形式にて開催された第6地区研修会「肝エラストグラフィーについて」に参加させていただきました。

まず、「肝エラストグラフィー 超音波編」では東京臨海病院の藤井先生から、エラストグラフィーが必要な理由、びまん性肝疾患の超音波画像所見の見かたについてお話しいただきました。その中で、近年ではC型肝炎は抗ウイルス剤で治療できるようになった一方で、非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) の患者が多く年々増加傾向であり、簡易的に行える超音波エラストグラフィーの重要性を強く感じました。

次に「肝エラストグラフィー MRI編」では東京都立大の畑先生から、MRエラストグラフィーの歴史から原理・実際の撮像方法までお話しいただきま

した。MRエラストグラフィーでは専用の加振装置が必要であることや薬事承認を得た専用装置を使用することなど、まだまだ実施するにはハードルは高いものの、超音波のエラストグラフィーと比べ広範囲を一度に評価でき、精度が高いことを知ることができました。また、今後MRエラストグラフィーを広めていくためには、ポジショニングや一つ一つのことを丁寧に行っていくことが大切であると話しておられ、技術の重要性を感じました。

今回、肝臓におけるエラストグラフィーの講演でしたが、侵襲的な針生検に代わる技術である一方で、より精度を担保するには技術の積み重ねがとても大切であることを再確認することができ、今後に役立てていきたいと思います。

第6地区研修会 印象記

東京慈恵会医科大学附属第三病院 富樫敦史

今回、第6地区研修会「肝エラストグラフィーについて」にWebで参加した。本研修会では、超音波およびMRIにおける肝エラストグラフィーに関し、非常に多くのことを学ぶことができた。

藤井先生による超音波検査における肝エラストグラフィーでは、さまざまな疾患における画像所見や疾患の成り立ちなどを知ることができた。特に画像では、重要な所見やサインを実際の画像を提示していただき、とても分かりやすく勉強になった。また、エラストグラフィーの必要性や画像化のメカニズムを知ることができた。診療放射線技師が超音波を行う当院でも技師間で情報を共有し、日々行われる検査に生かしていきたいと感じた。

畑先生によるMRIにおける肝エラストグラフィーでは、検査の歴史や画像化するために必要な装置な

どを学ぶことができた。画像化の成り立ちにおいては、詳細に教えていただき非常に勉強になった。MRIでのエラストグラフィー加算を取るためには、施設基準が高く、将来的に取れるよう検査室の体制を整えることも必要だと感じた。臨床応用においては、エラストグラフィーを肝臓以外の臓器にも適用を検討されていることも学んだ。中枢神経系や骨軟部等にも研究され、今後のエラストグラフィーの進化や必要性も知ることができた。

診療報酬改定により、診療放射線技師が関わる検査で加算が取れるものが増えてきている。本研修会を通して、改めてわれわれの検査の重要性や必要性を把握し、患者さんへより良い検査の提供を行っていけるよう日々精進していきたい。

第6地区研修会「肝エラストグラフィーについて」に参加して

高島平中央総合病院 岡部博之

とても楽しく学ぶことができました。講師を務めていただいた東京臨海病院 技師長 藤井雅代先生、東京都立大学大学院 准教授 畑純一先生に感謝申し上げます。

今回、企画の段階から携わらせていただきました。肝エラストグラフィーが2022年度から診療報酬の加算になり、私たち優秀な第6地区委員は“エラストグラフィーとは何ぞや!”となった次第です。そして勤勉ではあるが独学を嫌う傾向にある第6地区の同志たちはその道の専門家の方からお話を聞いてしまおう! となり、両名の先生のお名前が上がりました。私たちが知りたいと思ったことは、きっと都内の診療放射線技師の皆さまも知りたいはず! と、地区委員の伝手を最大限に生かしオファーを送りました。“友達の友達はみな友達だ”の精神は第6地区に代々引き継がれた心構えです。数日後、快く承諾をいただけたとの報告を受け、当日を心待ちにしていました。

講義は東京臨海病院 技師長 藤井雅代先生の「肝エラストグラフィー 超音波編」から始まりました。

まずは肝疾患の現状および病期について超音波画像を用い画像所見の読影方法も交え分かりやすく丁寧に説明していただきました。また肝エラストグラフィーの有用性ならびに定量的評価が可能になり正確な診断に結び付く旨も教えていただきました。

次に東京都立大学大学院 准教授 畑純一先生の「肝エラストグラフィー MRI編」の講義を拝聴させていただきました。MRIシーケンスから撮像原理(ウェーブイメージ→エラストグラム)、撮影方法および今後の発展領域(前立腺・乳房・脊髄系など)への可能性の話もとても興味深く分かりやすく教えていただきました。両先生のおかげで肝エラストグラフィーについて頭の整理と理解が深まりました。またエラストグラフィーの発展性が期待できると確信しました。

貴重な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。最後に一言、アルコールの取り過ぎとメタボには気を付けたいと思います。なるべく頑張ります。明日から頑張るつもりです。

2023年度

KANTO KOSHINETSU OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGIST

関東甲信越診療放射線技師 学術大会

日に新たに また日々新たなり
～ 心と技術をつなぐ甲斐 ～

YAMANASHI

会期

2023年 6月24日(土) 25日(日)

会場

山梨大学 甲府キャンパス



大会専用サイト

【主催】

公益社団法人 日本診療放射線技師会
一般社団法人 山梨県診療放射線技師会
一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
公益社団法人 神奈川県放射線技師会
公益社団法人 茨城県診療放射線技師会
一般社団法人 千葉県診療放射線技師会

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
一般社団法人 長野県診療放射線技師会
一般社団法人 新潟県診療放射線技師会
公益社団法人 東京都診療放射線技師会
一般社団法人 群馬県診療放射線技師会

【大会長】

宮崎 旨俊

一般社団法人 山梨県診療放射線技師会 会長

【実行委員長】 土橋 永

【実施】

一般社団法人 山梨県診療放射線技師会

日本診療放射線技師連盟

2023 No. 3 ニュース

(通巻No.83)

発行日 令和 5 年 3 月 28 日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL.070-3102-1127 FAX.03-6740-1913

連盟活動報告

- ① 3月8日(水) 自民党各種団体協議会 懇談会に出席
- ② 3月13日(月) 自民党各種団体協議会 実務者研修会に出席



事務局からのお願い

畦元将吾代議士後援の自民党入党は右のQRコードから登録できます。

本連盟の年度は1月から12月となっております。

2021年第2回理事会において、年会費は一律 2,000円となりました。

また、寄付によるご支援も随時受け付けております。

郵便局 備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金

口座番号:0667669

加入者名 日本診療放射線技師連盟





中央医療技術専門学校同窓会総会のお知らせ

下記の通り2022年度中央医療技術専門学校同窓会を開催致します。

会員（卒業生・学生）の皆さまにおかれましては、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

日 時：2023年6月24日（土） 14：00

場 所：総会・講演会 中央医療技術専門学校3号館視聴覚教室
懇親会 中央医療技術専門学校4号館ラウンジ

記

I. 2022年度 中央医療技術専門学校同窓会総会 【14：00】

議事

- ・ 2022年度事業報告
- ・ 2022年度会計報告
- ・ 2022年度監査報告
- ・ 2023年度事業計画（案）
- ・ 2023年度会計予算（案）
- ・ 役員改選

II. 教育講演（無料）【14：45】

「AI技術を活用した最新動向」

- ①富士フイルムメディカル株式会社
- ②富士フイルムヘルスケア株式会社

III. 懇親会（有料）【16：00】

参加者は1,000円徴収させていただきます。（学生無料）

今後の情勢を踏まえ、内容を変更する可能性がございます。会員の皆さまにおかれましては、ご理解とご協力の程、お願い申し上げます。

以上

会員動向

2022年4月～2023年3月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2021年度末集計	2,321	183	26	26	101
2022年 4月	2,354	32	8	4	3
2022年 5月	2,398	43	3	1	1
2022年 6月	2,431	39	1	4	3
2022年 7月	2,442	14	2	2	3
2022年 8月	2,463	21	1	1	0
2022年 9月	2,472	13	3	2	5
2022年10月	2,481	13	2	3	3
2022年11月	2,488	10	3	3	3
2022年12月	2,495	11	1	1	4
2023年 1月	2,495	11	2	3	10
2023年 2月	2,491	1	4	3	6
2023年 3月	2,448	2	8	4	49

医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、これまで数多くの病院・医療機関より要請を承っております。
勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望にあわせて
お仕事をご紹介致します。
医療スタッフは、随時募集しております。ご友人、お知り合いの紹介も随時受け付
けております。

☆ まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご案内させていただきます。

☆ ご登録・ご相談は無料です。

☆ 健診や外来での撮影業務等、単発からございます。

☆ 受付時間 平 日 9:00 ～ 18:00

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 FAX:03-3869-5802

E-mail: info@jmb88.co.jp URL: https://www.jmb88.co.jp

一般労働者派遣事業許可: 派13-301371 有料職業紹介事業許可: 13-ユ-130023

News

5月号

日 時：2023年3月2日（木）
午後7時00分～7時50分
場 所：インターネット回線上
出席理事：江田哲男、野口幸作、関 真一、鈴木雄一、
宇津野俊充、浅沼雅康、高野修彰、竹安直行、
市川篤志、小林隆幸、長谷川雅一、原子 満、
鮎川幸司、関谷 薫、増田祥代、布川嘉信
出席監事：野田扇三郎、白木 尚
指名出席者：島田 諭（第2地区委員長）、上田万珠代（第4
地区委員長）、中田健太（第5地区委員長）、伊
佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第7地区
委員長）、大津元春（第8地区委員長）、西郷洋
子（第9地区委員長）、澤田恒久（第10地区委
員長）、名古安伸（第11地区委員長）、宮谷勝
巳（第14地区委員長）、小野賢太（総務委員）、
村山嘉隆（総務委員）、青木 淳（総務委員）、
新川翔太（総務委員）
欠席理事：渡辺靖志
欠席監事：なし
議 長：江田哲男（会長）
司 会：野口幸作（副会長）
議事録作成：村山嘉隆、青木 淳

会長挨拶

本日はご多忙の中、参集いただき感謝する。JART 理
事会にて決定したことで告示研修の医師派遣中止につい
て議案が上がり承認された。今後は監督技師の条件を含
めたガイドラインを整備していることを報告する。本日は
今年度最後の理事会になる。ご協力をお願いしたい。

理事会定数確認

出席：16名、欠席：1名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 江田哲男 会長

・22日に薬剤師会訪問とあるが新しく東京都診療放射
線技師会の会長に就任したことの報告と挨拶をJART
の上田会長と畦元先生と共に訪問したことを報告す
る。

2) 副会長

関 真一 副会長

・活動報告書に追加なし。

野口幸作 副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木雄一 理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：宇津野俊充 理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

学術：市川篤志 学術委員長

・ペイシェントケア学術大会を無事に終えることができ
た。次年度は多くの方に参加いただきたいと思うので
各委員長にも参加をお願いしたい。

5) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

7) その他

・特になし。

議 事

1) 事業申請について

①第144回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催）

テーマ：次世代がん放射線治療装置MRIリニアック
－更なる高精度放射線治療とは－

日 時：2023年5月15日（月）19：00～20：00

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

②第145回日暮里塾ワンコインセミナー－入会促進セミナー（Web開催）－

テーマ：2023年度 診療放射線技師のための「フレッシュセミナー」同時開催

日 時：2023年5月21日（日）8：45～17：00

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

③第146回日暮里塾ワンコインセミナー－入会促進セミナー（Web開催）－

テーマ：2023年度 診療放射線技師のための「フレッシュセミナー」同時開催

日 時：2023年6月4日（日）8：45～17：00

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

2) 2023年度事業計画案について

江田哲男 会長：

2023年度事業計画案について三つの委員会を中心に事業を展開していく。一つ目は入会促進委員会、二つ目は定款諸規程等検討委員会、三つ目は放射線相談委員会を実施したいと考えている。主な事業の展開としては七つの項目を挙げている。まずは“Webを使用した会議・セミナーの開催”は現状も行っているが5月に入ると新型コロナが5類に移行され対面も考えられてくるがWebを中心とした会議をお願いしたい。また、現在も実施している“地区の活性化を目的にした地区委員との親睦”を目的にした地区会議へアクティブに参加したい。“告示研修開催に向けての環境作り”“放射線相談委員会と状況を共有し、広く都民の相談に対応する”“時代に即した本会規程等の見直し”“入会促進事業を推進するために「入会促進委員会」を設置する”。この入会促進委員会は2年間の猶予であるが、会費削減を行うことで入会促進につなげることを大きな目的としていることをご理解いただくことを地区の会員の方に説明をお願いしたい。入会促進については、委員会だけではなく全員で対応していきたいと考えている。“公益目的事業の規模拡大、資産取得資金の積立金の活用についての検討”、こちらもリマインドをかけながら資産取得資金の積立金の使い道を検討したい。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

3) 2023年度事業予算案について

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

4) 資金調達及び設備投資の見込みについて

関 真一 副会長：

来年度も資金調達も設備投資もなしとして東京都に提出する。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

5) 事務員の次年度雇用継続について

江田哲男 会長：

先日引地さんにヒヤリングを行い、事務員として継続の意思を確認したので、今後も雇用継続をする。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

6) 2023年度の定期総会について

鈴木雄一 総務委員長：

COVID-19が5類に移行されるため、次年度の代議員総会は対面で行う予定である。

日 時：2023年6月17日（土）14：00開始

場 所：一橋大学 一橋講堂

代議員による現地参加型（対面開催）で、当日出席できない代議員より委任状の提出を受けるものとする。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

7) 会費減額者について

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

8) 後援名義申請について

鈴木雄一 総務委員長：

日本放射線技術学会東京支部より2023年12月2日から3日まで行われる東京・関東支部合同研究発表大会2023の後援名義を依頼された。

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

9) 新入退会について

2月：新入会1名、転入4名、転出3名、退会6名

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

第3地区：

現在、告示研修会を中心に行われていますが、今後は統一講習会の位置づけはどうなるのでしょうか。地区委員の施設では、統一講習会受講者が院内の実技テストの終了後、抜針ができるようになる体制ができています。また他の施設では、スタッフ全員が施設で作成されたWeb講習会を行い、実技確認後に抜針を行うようにしています。今の状況では統一講習会の複数

回の開催は期待できないので、院内での座学、実技テストを開催して合格者は抜針行為を許可する、施設の判断で抜針を許可していくことに関して、JART・TARTの判断、ご意見をお願いします。

→江田哲男 会長：

統一講習会と告示研修の大きな違いは、研修を義務としているか、していないかである。JARTでは統一講習会を修了したことを前提に告示研修のカリキュラムを作成している。統一講習会を受講してから告示研修という流れを崩してはいない。この流れを汲むのであれば、統一講習会も開催しなければならないのが実情だと思う。しかし、JARTは現在ほとんど統一講習会を開催していない。TARTだけでは判断はできないので、JARTの理事会に東京都診療放射線技師会から理事会提案をさせていただきたいと思う。

施設によって独自に研修やテストをしていることは、医療安全の観点から見ても非常に有益性、必要性があるので継続してやっていただきたい。立入検査などでも咎められることはまずないと思うので、私個人、TARTとしても医療安全の観点からも是非実施していただきたいと思う。

第5地区：

TART研修会の申込完了(自動送信)メールについて、研修会名・氏名・会員番号などの項目が記載されていますが、その自動返信メールに開催日を記載していただけると、親切ではないでしょうかとの提案が委員よりありました。

(参加者への案内メールが遅れた私にも責任があるように思います。)

→竹安直行 情報委員長：

指摘をいただきフォーマット上に開催日が入っていないということが分かった。ホームページ作成会社に、フォーマットに開催日を入れた場合の改修費用を問い合わせたところ、15,000円で改修ができるとのことだった。もし理事会で承認いただき、必要であれば改修をしたいと思う。

→野口幸作 副会長：

改修していく方向で良いと思うが、その他の追加項目を募っても良いのではと考える。

→鈴木雄一 総務委員長：

5役会(3月15日)までに皆さまのご意見を挙げていただいて、見積もりは1週間程度で取れると思うため、専門部にも挙げていただいて、支払いなどの議論をし

てから理事会にかけると良いのではないかと。また、地区委員の皆さまにもメール会議などでご意見を募るのが良いのではないかと。

→野口幸作 副会長：

その方向性でいきたいと思う。

第8地区：

・告示研修受講率について

多くの会員の方に告示研修受講の必要性をアピールするために、東京都診療放射線技師会員の告示研修受講率をホームページおよび会誌に明記することは可能でしょうか。

→野口幸作 副会長：

JARTに確認をさせていただいた。東京都の会員に関する受講率は、人為的に会員が何人で何人受講しているかによる受講率を出すことは可能。東京都の診療放射線技師の母数が6,000人強ということしか分からないので、正確な受講率を出すことは難しいという回答をいただいた。ホームページに載せること自体は可能という状況ではある。これを出すことによって必要性をアピールするための要件になるかならないかの判断は難しい。

→江田哲男 会長：

告示研修は数字を見て判断するというよりも、受講する決まりになっているものである。施設によっても捉え方が違うというご意見をいただいたが、現在東京都の立ち入り検査時に受講状況について質問項目があるので、おそらく各施設で統一した見解が得られているのではないかと感じる。

連絡事項

高野修彰 渉外委員長：

先月の専門部の日までに来年度の表彰の推薦をいただき、今回の理事会の資料に一部が載ってしまったが、表彰委員会などに通していないので、来月に正式に資料を提出させていただく。

江田哲男 会長：

今年の6月に開催される関東甲信越学術大会の演題締め切りは3月13日正午までである。現在6演題と少ない状況である。各地区会員への広報をお願いしたい。

4月には日本医学会総会2023が東京国際フォーラムで開催される。この総会にはJRCとコラボでJARTも出展している。こちらについても各地区会員への広報をお願いする。診療放射線技師はWebであれば

3,000円の参加費である。

TARTのOB会を設立したいということで、篠原顧問から提案があり、設立に向けて検討をしている。

本会元会長の中澤顧問の叙勲の祝賀会を8月に開催する予定でOB会を中心に動いている。発起人の代表はJARTの上田会長、発起人メンバーについてはTARTのOB、現在のTARTの役員という形である。こちらもご参加いただければと思うので、広報などよろしく願います。詳細が決まり次第また連絡する。

今後の予定について（総務委員会）

鈴木雄一 総務委員長：


今月に今年度の全ての事業が終わり、次年度の4月

25日に今年度に関する期末監査が行われる。事業が終わり、地区委員会が終わり次第、報告書を作成していただき、早急に提出をお願いする。

4月の理事会の際に、新任や地区委員の変更申請が6カ月に1回なので、忘れずに申請書と更新した地区名簿の提出をお願いする。

地区委員会の地区委員は、地区会員10名あたり1名の委員である。会員が減ってしまった時に地区委員の数を減少せざるを得ない場合が発生する可能性があるということも頭に入れておいていただきたい。そういう意味も込めて、地区会員増員にご協力をいただきたい。

以上

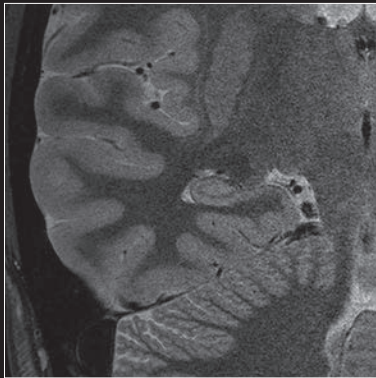


MRIに搭載、キヤノンのAI技術。

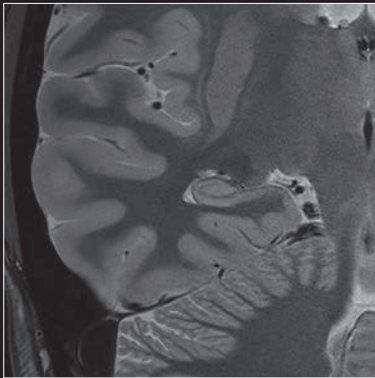
AI × 高精細

MRIとディープラーニングの出会いが、見える世界を大きく変える。

Original




ディープラーニングを用いて設計したノイズ除去再構成技術
Deep Learning Reconstruction (DLR)



0.15 x 0.15 mm iResolution, FOV 8cm

Advanced intelligent Clear-IQ Engine (AiCE)
本システムは画像再構成に用いるネットワーク構築にDeep Learningを使用しており、本システム自体に自己学習機能を有していません。



MRI AiCE

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

E000015-04

東放見聞録

熟メン技師（戦士）の変転

熟メン技師の多くは、昭和の高度成長期や平成のバブル経済を体験し、“24時間戦えますか”の流行語に象徴された「仕事・企業戦士」として長年戦ってきた世代だ。“男たるもの、人前で弱音を吐くな”などと叱咤され、年功序列・終身雇用の制度の下、タテ社会ならではのしがらみや派閥による抗争、アフター5や土日の接待もいとわず、「上司の命令を断る」という発想もなかった。

私も同じで仕事を辞めたいなど考えることもないプレイヤーだった。

40代半ばにして、突如、職場を変えた。手ごたえはある感じだった。新たに実績を積み上げ何かしら評価されるだろうと…。そこから、重要な仕事をさせてもらい責任も感じながらマネジャーへ… よそ見をする余裕もなくあつと言う間に10年が過ぎ去ってしまう。

50代半ばで住宅ローンの返済やらなかなか一息つけない。仕事を辞めたら長期旅行に行きたい。有休もたっぷり残っている。ここは我慢して60代半ばで行けるだろうか、その前に体を壊すことも考えられるが、こればかりはしょうがない。あの時やっておけば良かったと悔やむより先延ばしにした夢を追いかけてよう。

さすがに伸びしろはない…、これが人生で最後の挑戦になるだろう。

プレイヤーからマネジャーへ、そしてプレイングマネジャーに！

最後に私のモットーにしている、高杉晋作の詠んだ歌を紹介する。

『おもしろき こともなき世を おもしろく 住みなすものは 心なりけり』

面白くない世の中でも、面白くできるかどうかは自分次第である。熟メン技師の挑戦は続く！

DT モンキー

学術講演会・研修会等の開催予定

日時や会場等の詳細につきましては、会誌及びホームページでご案内しますので必ず確認してください。

2023年度

1. 学術研修会
 - ☆第21回サマーセミナー 未定
 - 第23回メディカルマネジメント研修会 未定
 - ☆第21回ウインターセミナー 未定
 2. 生涯教育
 - 第71回きめこまかな生涯教育 2023年7月1日(土)
 - ☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー
 - 第144回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催 2023年5月15日(月)
 - 第145回日暮里塾ワンコインセミナー(フレッシューズセミナー合同開催) Web開催 2023年5月21日(日)
 - 第146回日暮里塾ワンコインセミナー(フレッシューズセミナー合同開催) Web開催 2023年6月4日(日)
 - ☆4. 第23回東放技・東京支部合同学術講演会 未定
 5. 集中講習会
 - 第13回MRI集中講習会 未定
 - ☆6. 支部研修会
 - 城東・城西・城南・城北・多摩支部研修会 未定
 7. 地区研修会
 - 第1地区研修会 Web開催 2023年6月28日(水)
 8. 専門部委員会研修会
 - 第18回ペイシェントケア学術大会 未定
 - SR推進委員会研修会 未定
 9. 地球環境保全活動
 - 荒川河川敷清掃活動 未定
 10. 東放技参加 行政祭り等 未定
-
- ◆ 2023年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 2023年6月24日(土)～25日(日)
 - ◆ 第39回日本診療放射線技師学術大会 2023年9月29日(金)～10月1日(日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

Postscript

5月8日に新型コロナの位置づけが5類に見直されます。これまであった多くの制約がなくなり、マスク着用については3月13日以降、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本となりました。

この位置づけの変更により行政の役割が個人への強い関与から医療機関支援などに変わります。本来であればこれまでワクチン接種や感染した際の医療費なども公費負担から通常の一部自己負担の保険診療となります。しかし、急激な負担増が生じないように、入院・外来の医療費の自己負担分に係る一定の公費支援について、期限を区切って継続することになっています。また、ワクチン接種についても少なくとも2023年度中は公費負担によるワクチン接種が続く見通しです。

ワクチン接種や感染により抗体保有率が上がり、治療法や治療薬が開発されてきたことも相まって重症化率や致死率が季節性インフルエンザと変わらなくなっています。だからといって、5

類になってもウイルスの性質が変わるわけではありません。マスクは完全に防げるわけではないですが、取り込むウイルス数が減りますから感染の可能性は低くなります。ですから可能な範囲でこれまで同様感染対策は継続した方が良いでしょう。5類になったからといって全て解禁というわけではないのですから。

(すえぞう)



■ 広告掲載社

富士フイルムメディカル(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
富士フイルムヘルスケア(株)
(株)ジャパン・メディカル・ブランド
日本メジフィジックス(株)
長瀬ランダウア(株)
シーメンスヘルスケア(株)

東京放射線 第70巻 第5号

令和5年4月25日 印刷(毎月1回1日発行)

令和5年5月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会
会長 江田 哲 男

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <https://www.tart.jp/>

印刷・製本 株式会社キタジマ

事務所 執務時間 月曜～金曜 8時30分～16時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません
TEL・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一